

2015.8.23 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル

中目黒キリスト教会

聖別会マンスリー



2015年

< 聖化の豊かさを味わう > 「聖化の説教」

「聖なる民の一族 サムソンの聖化」

ナザレン教団小岩教会・坂本誠牧師

「神、主よ。どうぞ、私を御心に留めてください。ああ、神よ。どうぞ、この一時でも、私を強めてください。私の二つの目のために、もう一度ペリシテ人に復讐したいのです。」

(士師記 16:28)

A. サムソン生涯の背景

・時代：

イスラエルは外国からの制圧を受けており、そこから救出する士師（統治者+裁き人）を必要とした時代。サムソンのころは、ペリシテ人に圧迫されていた(13:1)

・ナジール（聖別された）人としてのサムソン：

酒を飲まず、髪を切らず、死者に近づかず、神に誓願して、自分を整える者(13:3-5)

・生い立ち：

信仰篤い両親&主の霊の働き(13:25)

B. サムソン生涯の出来事 [と著者のコメント]

1. ペリシテ女性との結婚

・ペリシテ女に一目惚れ [14:1-2 = 女性に弱い性格、しかしこれも主の計画 14:4]

・ライオン退治と謎かけ [怒りに身を任せる]

- ・ペリシテ人への復讐 [14 : 19、 15 : 18、 20 = 信仰の未熟さにも拘らず士師としての使命を果たす。神の働きと道徳的弱さが並行恩寵手段の行使が必要]

2 . ガザ事件 : 怪力を発揮 [16 : 3 = 自力に頼る悪しき例]

3 . デリラとのスキャンダル

- ・デリラの誘惑 [16 : 4 = 神への誓願よりも情を優先]
- ・誘惑に負ける [16 : 16 - 17 = 誘惑を断ち切らないで、そのままにした。自分の力は自分のものと錯覚した。そして、神の賜物売り渡した]
- ・サムソンの悔い改めと最後の祈り [16 : 28 = 真実な反省と方向転換]

4 . 死と埋葬 [16 : 30 - 31 = 信仰の原点に戻る]

C . サムソン生涯の総括

- ・放縦に陥ったが、信仰の原点に戻った
- ・士師としての使命を果たした
- ・彼の力の源は神にあった。神は力を与えなさるし、それを奪う自由もお持ちである
- ・神は、人の弱さをそのまま用いなさる
- ・神は私たちの弱さを知った上で聖化なさる (弱さを包み込み、目的のために最善に整えなさる)
- ・育てなさるのは神である